

# Chikuma River Wine Valley

## NAGANO WINE

### ワイナリーMAP

※2025年2月現在のワイナリーをご紹介します。

#### 1 イルフェボー

高齢化に伴い農地が荒れてしまうという周りの声から、耕作放棄地を開墾することにより、少しでも地域の方々が喜んでいただけたいという思いでワイン用ぶどうを作ることを決めました。イルフェボーは、フランス語で「いい天気」。地域が明るく気持ちよく住みやすい場所になるように、との想いが込められています。

千曲市八幡4030-1 ☎026-274-5656

#### 2 の音wines

レストランのソムリエが、出身地の千曲市倉科地区にワイン用ぶどうを植えたのが2016年でした。山梨県甲州市のワイナリー「98wines」でワインづくりを学び、2023年に試飲・販売店舗を併設したワイナリーを設立し、自社醸造をはじめました。

千曲市倉科1223 ☎026-285-0998

#### 3 坂城葡萄酒醸造株

代表の成澤さん(シニアソムリエ)は、2009年長野市にイタリア料理店を開店。深くワインを知るうえで最終的な到達点なのではないかと思うに至り、2011年から栽培を開始。ここに至り坂城町を感じられるような場所。人がいて、ものがあって、つながりを育てる場所。そんな場所を目指しています。

埴科郡坂城町坂城9586-47 ☎0268-82-2208

#### 4 ファンキー・シャトー

子権嶺岳(こまゆみだけ)山懷にたたくシャトーは、自然からのメッセージが感じられ、飲んで楽しく、そして精神的な豊かさを与えてくれる「そんなワインを育む葡萄」づくりを目指します。畑では、施肥は極力せず、農業も春先に低濃度の薬剤散布をするのみ。除草剤は使用せず、草刈で対応しています。

小県郡青木村村松1491-1 ☎0268-49-0377

#### 5 ヴェレゾンノート

赤ワインの銘醸地と言われている上田市の東山に魅せられて2015年にワイン用ぶどうを定植。カベルネ・ソーヴィニヨン、ネッピオーロ、バルベラなど、主に赤ワイン用ぶどうを栽培しており、特にネッピオーロに力を注ぎ、テロワールをそのまま表現するためにナチュラルな栽培・醸造を行っています。

上田市富士山1960-8 ☎0268-80-9190(事務所)

#### 6 セイルザシップワイナリー

2016年、心地よい風が吹き抜ける東山の小高い丘にブドウを1本ずつ手で植え、土や虫、微生物を大切に、除草剤や化学合成農薬は使いません。力強く、厳しく、優しい自然。そんな、人間にはコントロールできない圧倒的な存在である自然に寄り添い、時に委ねる。生命力みなぎるブドウを育て、ワインを醸します。

上田市富士山上居守沢1960-13 ☎0268-71-5973

#### 7 トゥモローワイン

2016年、浅間連峰と眼下に千曲川の流れ、そんな雄大なパノラマを見渡す高台にある畑でブドウ栽培が始まりました。南向きで日射量が十分なため水捌けが良く、様々な方向を向いた斜面に、同じ品種を植えることで違ったニュアンスを出せることや、適した品種を植えることで持ち味をさらに引き出せると考えています。

上田市生田150

#### 15 アルカンヴィーニュ

日本ワイン農業研究所株式会社が進む、ヴィラデストワイナリーの兄弟ワイナリーです。アルカンヴィーニュでは地域で栽培される原料を用いた、カジュアルなワインやシードル、そして瓶内二次発酵で造る本格的なスパークリングワインを、ヴィラデストで培った技術により製造しています。

東御市和6667 ☎0268-71-7082

#### 16 ヴィラデストガーデンファームアンドワイナリー

東御市初のワイナリー。玉村豊夫妻が2003年にワイナリー設立。栽培醸造は、開業当時から小西超が担います。ワイナリーの周囲にはブドウ畑が広がり、四季折々の花やハーブなどを楽しめるファームガーデンもある地元食材を使った季節感たっぷりの料理を楽しむカフェレストランも併設しています。

東御市和6027 ☎0268-63-7373  
☎0268-63-7704(カフェ予約専用)

#### 17 アパチャーファームアンドワイナリー

Apertureは英語で「カメラの絞り」という意味で、「農園のワイン造り&野菜づくりにフォーカスしたい」という田辺さんの想いが込められています。2011年から標高600~800mの畑で主にシュナンブランとメルローを栽培し、有機農業の経験を生かした自然なワイン造りに取り組んでいます。2022年にワイナリー開場しました。

東御市津津2946-6 Facebook: @ApertureFarm

#### 18 はすみふぁーむ&ワイナリー

運見喜昭さんは農業を通じて日本の地方を元気にしたい、そんな願いを抱きワイン造りを志しました。目指すは冷涼な気候を反映した、ミネラル感溢れるキリッとした酸が特徴のワインです。特にピノ・ノワールと甲州に力を入れ、小さくとも世界に打ってでる力のあるワイナリーを目指しています。

東御市津津413 ☎0268-64-5550

#### 19 リュードヴァン

東御市で2番目に設立されたワイナリーです。小山英明さんは日本でも当たり前のようにブドウをつくりワインを造り消費される日が訪れ、そして自らもその中で生きていきたいの思いから1998年にワイン造りの道に入りました。レストランではリュードヴァンのワインと共にこの地の食材を積極的に利用したお料理が楽しめます。

東御市津津405 ☎0268-71-5973

#### 20 カーヴ・ド・ミドウ

東御市では、気象や土壌がブドウ栽培に適していることから、新規参入者や農地の借り入れ要望が増加し、農地不足が課題となっていました。そこで、市と地域住民が計画を策定し、この地区をワイン用ぶどうの生産団地として再整備し、ワインの増産と観光振興を目指すこととなり、2017年より造成工事が開始されました。

東御市津津1391-1 ☎0268-71-5973

#### 21 ぼんじゅーる農園醸造所

医師の斎藤康さんは、さまざまなワインと出会い、自分の飲むワインは自分で造りたいと思うようになりました。先駆者がいて、気候がいい、土壌がいい、眺望がいい、そして人間がいいと条件が揃う東御市鞍掛地区にブドウ園を開園しました。日本の食卓で毎日楽しめるワイン造りに注力しています。

東御市津津240-3 ☎0268-63-4144

#### 22 アクアテラソル馨光庵

アクア(水)テラ(大地)ソル(太陽)というラテン語とワインの深い響(かおり)が漂う場所になるようにという思いを込め、アクアテラソル馨光庵(けいこうあん)としました。出場の集落に溶け込む日本家屋、そこで栽培人・醸造人の技能を最高度に発揮せしむべき自由達にして愉快な理想ラボの創設を理念に設立しました。

東御市鞍掛1094-1 ☎080-7408-2026

#### 23 レヴァンヴィヴァン

2019年設立。世界中の数多くのナチュラルワインとその造り手たちに出会い、「vin vivant」(生きているワイン)に魅了され、ワイン造りをスタート。栽培は、化学合成農薬、除草剤、化学肥料は使わずに、醸造ではできるだけ何も加えずに、ナチュラルでピュアなワインを造ることを目指しています。

東御市津津4379-1 ☎070-2797-2920

#### 24 アトリエ・デュ・ヴァン

新張地区にあるマイクロワイナリー。11年に耕作放棄地を開墾しブドウ園を開園、7年後、ワイナリーを立ち上げました。ピノ・ノワールとメルローの赤用品種のみを栽培します。様々な人生を歩んできた人々が集まって東御市に魅力を感じ、人を幸せな気持ちにできるワインを造り、人が集い100年間続くワイナリーを目指します。

東御市新張690-3 ☎090-7203-2482(営業日のみ)

#### 25 カーヴハタノ

ワイナリーと畑はなだらかな南斜面の丘にあり、標高約800メートル。千曲川の流れる谷、正面に蓼科山麓という雄大な光景が望めるロケーションです。シャルドネとメルローを中心に冷涼で晴当たりの良いテロワールをいかし、この土地の可能性を最大限に引き出した高品質なワイン造りを心がけています。

東御市新張525-4 ☎080-6936-9646

#### 26 テールドシエル

2015年に小諸市穂地区でワイン用ぶどうの栽培を始め、2018年にファーストヴィンテージをリリース。2020年にワイナリーが完成し、自社醸造を始めました。ワイン造りでは、野生酵母で発酵、亜硫酸塩は極力使用しない、補糖、補酸はしない、また、ポンプを使わずに全部重力だけでワイン造りを行っています。

小諸市津野甲4063-5 ☎0267-41-6671

#### 27 ドメーヌ・フジタ

2016年に小諸市穂地区日向山で、ワイン用ぶどう栽培を始め、2019年にファーストヴィンテージをリリースしました。主に、ピノ・ノワール、シャルドネ、ソーヴィニヨン・ブランを栽培しています。日本のこの土地から生まれるピノ・ノワールのおいしさ、シャルドネのおいしさを追求していきます。

小諸市津野甲4162-221

#### 28 マンズワイン小諸ワイナリー

1973年に東信エリア初のワイナリーを設立。小諸、上田、長和に栽培地があり、最適な品種を探しています。また、今後の気候の変化、趣向の変化に対応すべく、様々な品種への挑戦も忘れていません。栽培技術面では「レインカット」栽培方式で、成熟期にみられる病害を防ぎ、しっかりとブドウが成熟できる栽培方法を行っています。

小諸市津375 ☎0267-22-6341

#### 29 グレーベこもろっこふぁーむ&ワイナリー

「農業で人と人をつなぐ」をコンセプトに、小諸の地で、標高650~950mの市内に点在する耕作放棄地を開拓し、欧州系品種を中心に約18,000本のブドウを栽培しています。

小諸市津東原151-1 ☎0267-41-0042

#### 30① アンワイナリー

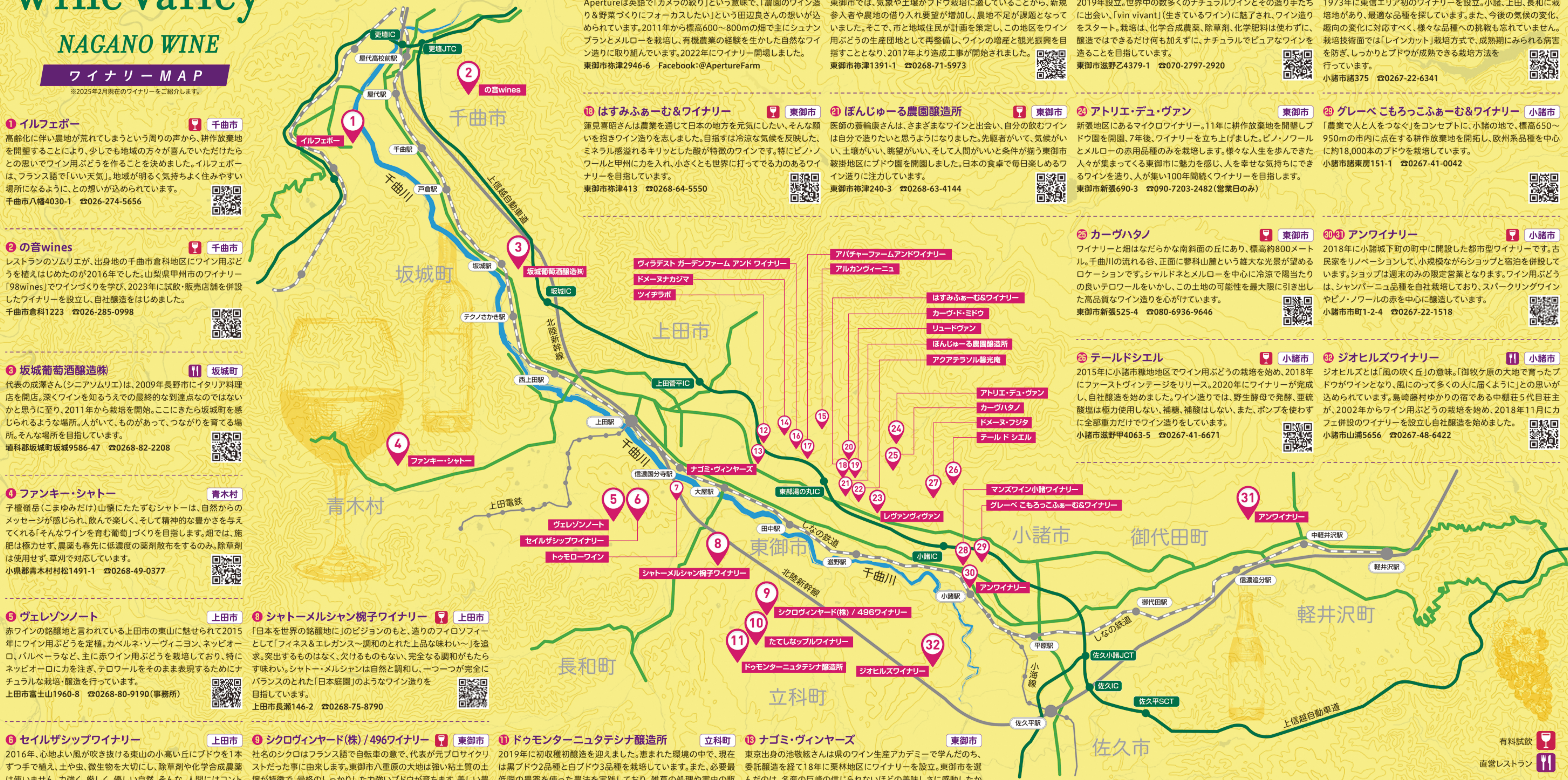
2018年に小諸市下町の町中に開設した都市型ワイナリーです。古民家をリノベーションして、小規模ながらショップと宿泊を併設しています。ショップは週末のみの限定営業となります。ワイン用ぶどうの良いテロワールをいかし、この土地の可能性を最大限に引き出した高品質なワイン造りを心がけています。

小諸市市町1-2-4 ☎0267-22-1518

#### 30② ジオヒルズワイナリー

ジオヒルズとは「風の吹く丘」の意味。「御牧ヶ原の大地で育ったブドウがワインとなり、風によって多くの人に届くように」との思いが込められています。島崎藤村ゆかりの宿である中棚荘5代目荘主が、2002年からワイン用ぶどうの栽培を始め、2018年11月にカフェ併設のワイナリーを設立し自社醸造を始めました。

小諸市山浦5656 ☎0267-48-6422



降水量が少なく、日照時間が長く、昼夜の寒暖差が大きい気候と、水はけが良い土壌がワイン用ぶどうの栽培に適しており、広域的なワイン産地が広がります。県により策定された信州ワインバレー構想。5つのバレーのうち、千曲川流域のエリアが「千曲川ワインバレー」と命名されました。千曲川ワインバレーの東側8市町村が、2015年から広域のワイン特区「千曲川ワインバレー(東地区)特区」の認定を受け、酒税法の最低製造数量が6,000リットルから2,000リットルに緩和されたことにより、小規模ワイナリーの誕生が加速しました。特区構成市町村等で連絡協議会を組織しており、佐久市(2021年に協議会加入、2022年に特区追加)と軽井沢町(2024年に協議会加入)を加えた10市町村等で、特区内のワイン生産者の栽培支援やワイン振興をしています。

#### 千曲川ワインバレー特区連絡協議会

上田市・小諸市・佐久市・千曲市・東御市・立科町・青木村・長和町・坂城町・軽井沢町  
●お問い合わせ先  
〒389-0592 東御市東281-2 東御市産業経済部農林課農産物振興係  
TEL.0268-75-2016(8:30~17:15、土・日・祝日・年末年始を除く)

※数値地図(国土基本情報20万)「長野」の一部加工して作成

※令和6年度 長野県 地域発 元気づけ支援金活用事業